

No. 6 2026年1月4日

## 降誕後第二主日礼拝

説教『少年イエスの驚きの行動が示すもの』

山根眞三師

司会 市川真美恵さん

奏 楽 自動演奏機

招 詞 Iヨハネの手紙 5章 6~12節  
(564)

交 読 詩 5 4 6

祈 編 詩 9 3 編

祷 美 歌 21 - 2 7 5

使 徒 信 条 (566)

聖 書 ルカ福音書 2章 41~52節  
説 教 (口語訳85頁、新共同訳104頁)

『少年イエスの驚きの行動が示すもの』

祈 美 歌 21 - 4 3 1

聖 餐 式 (讃美歌21~81)

感 金 謝

報 告 宗

頌 票 5 4 1

祝 奏

## 次週の礼拝(公現後第一主日礼拝)

説教『御心にかなる者』

マタイ福音書 3章13~17節

招詞 ローマ書 12章1~2節／交説詩編96編

讃美歌 546、21-276、21-298、540

## 礼 拝 当 番

今週 4日 司会 市川真美恵さん

次週 11日 司会 吉丸初美さん

会堂清掃奉仕 1月18日(日)

コーヒータイム後に行ないます。(床ワックス済)

## 本日の集会

★教会学校 午前9時45分

★コーヒータイム 礼拝後～

それぞれの思いを語りあいましょう。

### 今週の集会/スケジュール

★公現日 1月6日(火)東方の博士達がイエスに見えた日。東方正教会ではこの日をクリスマスとしています。

●めぐみ幼稚園三学期始業式 1月8日(木)10時 年長さんにとって幼稚園で歩み、生活する最後の学期となります。神さまの導きと守りの中、子どもたちが育ち、歩み自己実現することができますようお祈りください。

●めぐみ幼稚園礼拝 1月9日(金)10:30

### 次週以降のスケジュール等

★聖書を読む会 1月13日(火)午前10時半～

★1月定例教会役員会 1月18日(日) 礼拝後 役員の働きと健康を覚えてお祈りください

●レコードコンサート 1月18日(日) 13時～15時30分 ドボルザーク 弦楽四重奏曲「アメリカ」作品96 ドボルザーク ピアノ五重奏曲 イ短調 作品81 交響曲 第九番ホ短調「新世界より」 作品95

★聖書を読む会 1月20日(火)午前10時半～

§ 広島キリスト教信徒会理事会 1月20日(火) 10:30～ 於：広島復活教会

§ 広島拘置所教誨奉仕 1月21日(水)午後1時半～ 施設にある方の信仰生活を覚えお祈り下さい。

§ 堀川恵子先生/山根牧師懇談会 1月24日(土) 13 良い語り合いの時が持たれるようお祈り下さい。

§ 広島キリスト教一致祈祷会 1月25日(日) 14時30分～ 講師：堤健生牧師(広島南部教会)

### 先週の集会 男 女 計

教会学校	0	0	0
------	---	---	---

主日礼拝	3	6	9
------	---	---	---

レコードコンサート	3	4	7
-----------	---	---	---

## ◇今週の説教(降誕後第二主日礼拝)

『少年イエスの驚きの行動が示すもの』ルカ伝 2:41~52

教会暦の上では東方の博士がイエスに見える公現日よりも今日は前。更に言えばイエスが命名された日は先日の元日だったと聖書は示している。それにも拘わらず、教団、またローズンゲンの聖書日課によれば今日の少年イエスについてのエピソードの描写となっている。私たちはこれらの聖書から新年最初の歩み出しについて示されたい。当時のユダヤ人の生活によれば、子どもは13歳で大人として扱われていた。それ以後、年に三度はエルサレム神殿詣でが義務化されていた。13歳前にそれらの予行としてイエスは人生最初の神殿詣でのナザレの巡礼団に加わったのだろう。私たちがイエスの私生活について知り得る数少ない描写だ。ナザレからエルサレムはおよそ100キロ。結構ある距離だ。聖書の描写から示されるのは、エルサレムに到着後は各自自由な行動が許されていたようだ。一週間前後はエルサレムに滞在し、各自がその信仰的関心、興味に従って行動することが許されていた。聖書の描写ではイエスは両親と行動を共にしていなかった。それだけではなく、両親はイエスの行動を全く理解、把握できていなかった。このことはイエスの行動する意志や思いは肉親としての感覚では理解、受容できるものでないことが示されるのだろうか。そうであったとしてもイエスのこれらの行動は現代の範疇で言えば、発達障害を持った少年の行動のように思えるので、明らかに問題行動と捉えてしまうのだが。聖書はそうではなく、神に出会う重要な行動だと示すのだ。

今日の描写は大変象徴的。巡礼団が12歳の少年がないのに、また両親も少年の存在を確認することなく帰路に発ってしまった。神さまの臨在を殆ど感じことなく行動してしまうこともある。両親はイエスを探して3日。ここにはイエスの3日目の復活が考えられる。そしてイエスが神の家に、神と共に臨在。